

1. 調査報告概要表

作成日 平成21年2月19日

【評価実施概要】

事業所番号	1072900804
法人名	医療法人 日望会
事業所名	グループホームサンホープケアホームはな花
所在地	群馬県みどり市笠懸町阿左美499番地1 (電話) 0277-30-8122

評価機関名	サービス評価センターはあとらんど
所在地	群馬県前橋市大友町2-29-5
訪問調査日	平成21年2月12日

【情報提供票より】(21年1 月26 日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・ 平成 17 年 1 月 1 日
ユニット数	1 ユニット 利用定員数計 9 人
職員数	9 人 常勤 8 人, 非常勤 1 人, 常勤換算 6.4 人

(2) 建物概要

建物構造	木造平屋 造り
	1 階建ての 階 ~ 1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	49,000 円	その他の経費(月額)	10,500円(水道光熱費)
敷 金	有(円)	無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有/無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
または1日当たり 1,400 円			

(4) 利用者の概要 (1 月 26 日現在)

利用者人数	9 名	男性	0 名	女性	9 名
要介護1	1 名	要介護2	5 名		
要介護3	1 名	要介護4	2 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 86, 2 歳	最低	78 歳	最高	93 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	みどり病院 サンホープ笠懸 小森谷歯科医院
---------	-----------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

管理者と職員は運営理念を共有し、利用者が地域の中でその人らしく暮らし続けられるよう取り組んでいる。一人ひとりの地域生活の継続支援を如何したら良いかと常に管理者と職員は意見交換を行って支援をしている。地域の自治会に加入し、地域行事に(老人会、繭玉づくり、餅つき大会等)利用者と職員は地域の一員として参加しており、地域の方と共に楽しんでいる。調査時は、一人ひとりの明るく生き生きとした表情が見られた。楽しく穏やかに安心して生活が送られている様子が私たちに伝わった。なによりも利用者同士の会話をしているほほえましい光景が印象に残った。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回の取り組みを期待したい内容①市町村との連携については、事業所からは担当窓口を訪ね連携を図っているが、運営推進会議に担当者の参加は得られない現状である。②重度化や終末期に向けた方針の共有については、事業所としての指針を説明し同意書を作成している。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>サービス評価の意義や目的を全職員に伝え、全員で自己評価には取り組んでいる。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>定期的開催されており、利用者、活動状況等の報告を行い参加者から意見や要望等聴いている。ボランティア、老人会行事等の情報を頂き運営に反映させている。家族には全員に通知し都合のつく家族に参加をしてもらっている。市町村担当者へは参加依頼をしているが、欠席状況にある。</p>
重点項目③	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>運営推進会議に参加して頂き意見や苦情、要望等を聴いている。家族等の来訪時には、管理者と職員は話しやすい雰囲気づくりには留意している。また、苦情受付箱を設置しており、家族からの意見や要望等は運営に反映をさせるようにしている。</p>
重点項目④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>自治会に加入し、回覧板で地域行事等の情報があり、老人会や繭玉づくり、餅つき大会等に利用者と職員は参加をし地域の方と共に楽しんでいる。散歩時には挨拶や話しをする、回覧板を近隣に回す等地域とのつきあいがある。事業所の近くに火災があった時には、地域の方が心配をして施設に駆けつけてくれる等の協力が得られている。</p>

2. 調査報告書

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域密着型サービスとしての理念を管理者と職員で話し合い、地域の中でその人らしく生活することを支える事業所独自の理念を掲げている。		
	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念を目に付きやすい所に掲示しており、管理者と職員は日々、かかわりの振り返りの時にも理念にふれ、確認しながら実践に向けて取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会に加入し、回覧板で地域行事等の情報があり、老人会や繭玉づくり、餅つき大会等に、利用者と職員は参加し地域の方と楽しんでいる。散歩時には挨拶や話しをする、回覧板を回す等で地域とつきあいがある。近くで火災があった時は地域の方が心配して駆けつけてくれている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価には管理者と職員で話し合いながら作成をしており、出来上がった時点で全職員に報告をし意見を求めまとめている。		
	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	定期的に(2ヶ月に1度)開催をしている。家族には全員に通知し都合のつく家族に参加をしてもらっている。利用者、活動状況等の報告を行い参加者から意見や要望等を聴いている。ボランティア、老人会行事等の情報を頂き運営に反映させている。市担当職員には、参加依頼をしているが欠席の状況である。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>運営推進会議の議事録を届ける、介護相談員の会議、市主催の会議等で連携を図っている。運営推進会議の参加には至っていない。</p>	○	<p>運営推進会議は事業所として、運営や現場の実情等伝える良い機会であり、市町村の理解や支援などが必要なことが多くある。引き続き市担当者へ、運営推進会議に参加をして頂けるよう継続して依頼をしていくことが望まれる。</p>
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>家族の来訪時には日頃の暮らしぶりや心身の状態の報告をしている。ホーム便りは月1回発行しており、また、家族と職員の情報交換ノート等も作成するなど家族との連携を図っている。</p>		
8	15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>運営推進会議には家族に参加をしてもらい意見や要望を聴いている。家族等の来訪時には、話しやすい雰囲気づくりに留意している。苦情受付箱を設置しており、家族から出た意見等は運営に反映させるようにしている。</p>		
9	18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>利用者、家族への信頼関係を築くためにも、馴染みの職員が対応することを大切に考えて職員の固定化を図るようにしている。新職員が入った場合には、利用者、家族に紹介し、馴染みの関係が早期に築かれるように配慮している。</p>		
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>事業所外で開催される研修会にはなるべく多くの職員が受講できるようにしている。救急救命講習、認知症について、基礎研修等を受講しており、研修後は報告を行い全職員で共有を図っている。</p>		
11	20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>地域密着型サービス連絡協議会に加入し、レベルアップ研修、管理者研修等に参加し、交流や情報交換を行っている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人、家族等に見学してもらい、共に過ごし雰囲気を知ってもらっている。施設や自宅に訪問し顔なじみになる等で安心して利用ができるように配慮している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	昔の生活の様子や編み物、花の水のやり方、着物の着方、餅つきの仕方、調理等教えてもらう場面が多い。共に過ごし支えあう関係が築かれている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々のかかわりの中で、本人との会話等の中から思いや希望を推し測るようにしている。また、家族等からも意見や情報を聴き、その情報を職員間で共有しながら日々のケアに反映させて個別性のあるケア実践に努力している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人や家族には日頃のかかわりの中で思いや意見を聴き、介護計画に反映させるようにしている。アセスメントやモニタリングを含め、カンファレンスで職員が話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映させた利用者本位の介護計画を作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護記録はプランに沿って記録がされており、モニタリングは月1回実施している。状態の変化に応じ、サービス内容は見直しをしているが、全体的に介護計画の見直し期間は長期になっている。	○	本人及び家族の状況は変化しており、現状と介護計画がかみ合っていない状況が起きがちで、長期の設定期間での見直しでは対応できない状態になる。月1回のモニタリングを活かし、本人や家族の意向や要望を確認し、現状に即した計画の見直しが必要と思われる。そのためには、現在の見直し期間の短縮を図り実情に即した、あるいは変化の兆しに予防的に対応する介護計画の見直しが望ましい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人や家族等の希望や状況に応じて、通院、送迎、買い物等必要な支援は柔軟に対応している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居時、本人、家族等の意向を確認し、希望するかかりつけ医で適切に医療が受けられるよう支援している。受診や通院は本人や家族等の希望に応じて対応している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化や終末期に向けた方針は、入居時に家族に説明を行い同意を得ている。状態の変化に応じ家族と関係者が話し合いを繰り返し行いながら、意向にそって支援をしている。方針については関係者全員で共通理解をしている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人の尊厳を大切に、言葉掛けや対応に配慮しながら支援をしている。記録等の個人情報の取り扱いに関しては、守秘義務に留意している。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的には1日の流れはあるが、一人ひとりの状態や思いに配慮しながらその日、その時の本人の気持ちを尊重して、できるだけ個別性のある支援を行っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	法人内の給食サービスを利用しているが、週1～2回は利用者の希望を取り入れ独自で食事を作っている。テーブル拭き、野菜を切る、皮を剥く、おしぼり巻き等を利用者と一緒に行うようにしている。職員は同じテーブルを囲み一緒に食事をしながら楽しい雰囲気づくりに配慮している。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	基本的には週3回であるが、希望やタイミングに合わせて柔軟に支援をしている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	掃除、洗濯物たたみ、新聞取り、テーブル拭き、調理の手伝い、外食、散歩、お祭り、ドライブ、季節の花見、四季折々の行事、地域の行事、外気浴、小旅行等の役割、楽しみ、気晴らしの支援をしている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩、外気浴、ドライブ等戸外に出かけられるように支援をしている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は鍵をかけずに、見守りながら安全面に配慮しながら、自由な暮らしを支援している。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署の協力を得て、年2回利用者と一緒避難訓練を行っている。消火器や消火栓の取り扱いについて、指導や助言を受けている。同法人の協力体制も強化している。地域の方に協力依頼もしてある。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事や水分の摂取状況を毎日チェックをし、職員が情報を共有しているが、記録については食事量はしているが、水分量はしていない。	○	食事や水分摂取状況を毎日チェックしているが、食事量だけでなく水分量も合わせて記録をし、職員が情報を共有することが望ましい。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	敷地内に庭木や季節の花が植えられている。同法人との間に庭があり、ウッドデッキから眺めることや出ることができる環境にある。ホール内は壁飾り、ソファが設置されており、思い思いに過ごせるように配慮されている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	寝具、箆笥、時計、衣装箱、人形、ぬいぐるみ、テレビ、衣装かけ、家族写真等が持ち込まれており一人ひとりが安心して過ごせる環境に見受けられた。		